

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上が前年比で113%と好調である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・買上客数は前年並みに戻りつつあるが、単価が低く推移しているために景気は上向きとは言い難い。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・マイナーチェンジをした車種の販売が良好で、新型車の事前予約があったため、やや良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末に向けて各種会合が多くなり始めている。家族での食事回数も増えてきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・10月からの外装工事が11月まで延びたため前年比では多少売上減ではあるが、10月ほどの影響は受けていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前はまだ東日本大震災の影響で非常に人の動きが悪かったが、11月に入り人の動きが出てきている。決して景気が良いというわけではないが、震災の影響が多少客の頭から少し離れ、動いている。
		旅行代理店（所長）	お客様の様子	・紅葉のシーズンとなり、テレビ等メディアでの紹介も重なったことから、前年比で良いとはいづらいものの、今年の状況下では持ち直してきた感がある。
		通信会社（販売担当）	販売量の動き	・前年比は85%で、ボーナスが出て、どうなるかは分からないが、ボーナス商戦向けに冬春モデルを発売するため、3か月前と比べて販売数が若干ではあるが伸びてきている。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・東日本大震災の影響が残る3か月前に比べ、来客数の動きは回復傾向にある。今夏導入した新アトラクション効果や園内イベントが好評のため、来客数は前年を上回って推移している。
	設計事務所（所長）	それ以外	・地元の建設業界は東日本大震災復興工事で空前の賑わいをみせており、下請業者が全く足りない。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・年末に向けての贈答需要が盛り上がらない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客の動きも悪いが、単価の良い物があまり出ず、安い物が動くため、あまり良いとは言えない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は行楽シーズンで皆出かけている。観光地には多少なりとも金が落ちるが、地元ではとても静かに過ごしており、安値低調である。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・気温変化が大きく、冬物の購買が盛り上がらない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温も低下し、冬物衣料の需要期に入っているが、依然動きは鈍いままである。お歳暮ギフト商戦が始まったが、特に個人の受注が厳しい状況である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温が下がりきっていないため、本来売れる商品の動きが悪い。客数は前年以上にあるが、年末年始といった物入りの時期を前に買い控えがあるような気がするほど、点数が上がっていない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・11月は来客数、客単価共に前年並みの推移である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・当店は特に何があるというわけではないが、今のところ前年に比べても、まずまずの成績を残している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・確かに無駄な物は購入しない傾向にあり、高価な弁当が売れるわけではないが、買上単価、買物行動を見ると、横ばい傾向である。
コンビニ（店長）		お客様の様子	・3か月前より東日本大震災の影響が和らいできている。震災の話は出るものの、影響はなくなっているため、それによる特別大きな変化もなく、売上には変化がない。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は多くもなければ少なくもなく、全く変わらない。		
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・気温が高かったため、コート類の販売数量減で平均単価が落ちている。		
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車検及び整備等の入庫は順調だが、年式の古い車に乗っている客に乗換えを勧めても、そこまでの余裕がないということで販売にこぎ付けない。		
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は上がってきているが、供給される部品に遅延が発生しているため、車両の配車が一部遅れている。		

乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・ここ2、3か月は全く同じような景気の状態、販売台数が伸びていない。必要最小限の、必要に迫られての買換えはあるが、輸入車の新車の販売が全く伸びていない。
住関連専門店 (統括)	来客数の動き	・来客数の減少傾向が見られる。販売も買上品目数が減少している。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・飲食関係は、夜の宴会等が減っている。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・来客数はこの数か月、それほど減りもしないし増えもしない。客単価もほぼ横ばい状態で、あまり変化がない。
観光型ホテル (営業担当)	単価の動き	・宴会部門は忘年会のシーズンを迎え、予約状況はほぼ順調に推移しているが、客単価は下がっている。観光はオフシーズンを迎え宿泊は伸びてこないが、予約の間際化が著しく、先がなかなか読めない状況である。
都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・周囲の自動車関係は良くなっているものの、客単価は下がり、他店との価格競争により収益は減少し続けている。
都市型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・来客数は忘年会シーズンに近づいたこともあり、徐々に増えつつあるが、それは季節による増加で、固定のビジネス客は、ほぼ変わらない状況が続いている。
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・高齢者はかなり元気が出ているが、若年層の動きがかなり鈍っている。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・引き続きの円高影響と株安により、客の動きが出てこない。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・東日本大震災のため、中止や延期になった団体やグループの再申込が増えてきていることは確かだが、新規や申込数は前年とあまり変わりがない。動きは出てきているようだが景気が上向いているとまでは言えない。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・少しずつではあるが景気回復の兆しがあるものの、原材料、紙の高騰で原価が10~15%増など、不安要素も否めない。
通信会社(局長)	お客様の様子	・3か月前より販売数は上昇しているが、客の様子を見ると消費抑制傾向は依然継続しており、これは新規の顧客単価がやや減少傾向として表れている。
ゴルフ場(副支配人)	来客数の動き	・毎月イベントを行っているが、来場者はほぼ前年と変わらない。
ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・週末の天気が悪かったとはいえ、天候が安定していたため、来場者数は引き続き伸びている。また、秋の行楽ゴルフシーズンであったため、客数は増えている。
競輪場(職員)	お客様の様子	・来場者数、購買単価共に、ほとんど変化が見られない。
その他サービス [清掃](所長)	それ以外	・量販店では売上を確保するためか、日替わりで特売品等に関する折込広告等を出しているが、客も特売品等を中心に買物をしている状況に大きな変化は見られない。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	販売量の動き	・猛暑の8月と比べても、来客数及び単価は依然横ばいである。各テナントへのサービス券の発注関係が若干上向いてきているが、利用枚数に大きな変化は見られない。
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・11月末ということもあって、仕事量はあるが、ほとんどが今までの仕事の処理であり、新しい計画で忙しい訳ではない。
設計事務所(所長)	お客様の様子	・年度末に向けて客の動きが多少良くなっているが、3か月前と比べてあまり変化はない。
設計事務所(所長)	来客数の動き	・相変わらず客からの相談や依頼が少なく、仕事にも結び付かない。
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・物件に対する引き合いが若干出てきたが、なかなか成約には至らない。客も慎重で、様々な所の物件を見て回ってから結論を出すようで、かなり時間がかかる。
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・数字的には余裕がなく、予断を許さない状況である。
やや悪くなっている 商店街(代表者)	販売量の動き	・11月に入り売上が悪く、広告を出しても反応がない。相変わらず安価なものには手を出すが、少々値の張る物には動かない。

商店街（代表者）	来客数の動き	・年配客の来店回数が前年同月比83%と落ち込んでいる。	
一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きが鈍く、天候に左右される季節商材が思いのほか動かない。買換えはあっても新たな購入がなく、依然厳しい状況である。	
一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・東日本大震災後、日に日に人出が悪くなっている。また、来客があっても本当に必要な物が、よほど安い物しか買わない状況が続いている。	
百貨店（総務担当）	来客数の動き	・お歳暮の来客数は前年比78%、売上額が74%と、前年に比べ毎日が暇で、1人当たりの売上が減少している。現在、早期割引をしているが、どれだけ前年度分を確保できるか心配である。とにかく毎日来客数が減少しているため、頭が痛い。	
スーパー（経営者）	競争相手の様子	・ディスカウントへの業態転換の店舗が増え、価格競争が激化している。	
スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・来客数の落ち込みがなかなか解消できない。近隣の同業店も似たような状況にある。	
スーパー（統括）	販売量の動き	・平年を2度以上も上回る気温が続き、シーズンの主力である鍋物等のあったかメニューやコート、ジャケット等の防寒商材の動きが落ちている。	
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は2～3か月前と比べると売上が落ちている。特に日配品、ポケット菓子、雑誌などの落ち込みがひどい。	
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・日用消耗品の動きが鈍くなってきており、販売促進策の効果も3か月前に比べると薄らいている。20度を越える日が依然としてあるなど、季節商材の動きも鈍いままである。	
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・忘年会などの予約を見ても最悪の状態、前年比で半分以下の受注しかない。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・時期的に忘年会、新年会の予約が入るころだが、企業単位、又は部署単位での予約は皆無に近い。地元の組織や付き合いの範囲での予約にとどまっており、飲酒ではなく食事が主の昼の会が目立ってきている。	
スナック（経営者）	来客数の動き	・先月末ぐらいから、また一段と落ち込んでいる。ランチタイムのサラリーマンまで外食を控えている様子で、手の打ちようがない。	
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・先の予約状況では、特に忘年会等の予約が前年に比べて約20%減っている。	
タクシー運転手 タクシー（経営者）	お客様の様子 お客様の様子	・飲食関係の客の減少が著しい。 ・不景気が定着した状況であり、昼も夜も動きが悪く、前年同月比11%の減少である。	
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・主要地場産業のりんごや柿が、春先の天気や秋の天候の暖かさにより、色、形、蜜の入り具合等が例年より悪く、商品としての価値が大幅に落ち、出荷量の減少ともなっている。それが引き金となり、消費を控える傾向が見られる。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・3か月前の夏休み時期よりも来客数が少ない傾向にある。	
その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	お客様の様子	・本店では両替機を6台使っているが、客の両替金額が少なくなっており、特に高額紙幣の両替が減っている。客はある程度楽しむ金額を決めて、その中で楽しんでいる状況が見られる。	
美容室（経営者）	それ以外	・美容学校の来年入学の推薦者は、例年に比べ数字的には変わらないが、入学金の納付状況は非常に悪く、納められずに取り消される生徒が出てきているため、景気が悪く感じられる。また、11月は婚礼のシーズンだが、前年と比べて3割くらい婚礼の数が減っている。	
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・問い合わせは多いものの、成約には至っていないものが多く、販売量は減少している。全体的に案件不足で仕入が無い状態である。売買件数も全体的に減少傾向にある。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・東日本大震災のあった時を想起させるような売上である。本来なら少しは訪れる買換え客も少なく、閑散としている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客の購買意欲が非常に悪い。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	来客数の動き	・経済状況は全く良くなっていない。当地域への観光客もかなり少なくなっており、全体的にお金が動かず、悪くなっている。

		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客に全く購買意欲が見られない。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店は街の中心部の路面店だが、11月は12月のセール待ちという雰囲気も分かるが、とにかく客が出てこない。店に来た客も、買物をしたい部分を相当に我慢している様子で、そんな中、自分に言い聞かせるように一番安い物をやっと買って行く状況が多く見られる。また、今月もクレジットの利用者が本当に少ない。
		家電量販店（経営者）	単価の動き	・アナログ放送停波後はテレビ等の需要が大幅に減少している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比で6割の推移となっている。前年はエコポイント制度見直しに伴う駆け込み需要があったため、前年比では厳しい実績となっている。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・コスト関係で、価格の減額要請を受けていた分がこれから収益に加えられることが気掛かりだが、受注が前年比で130%、3か月前と比べても150%ほど増えている。量的には非常に好調に推移しており、収益も出始めている。
	やや良くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・復興事業を見越しての買換えが始まり、ミキサー車や建機類の増産、受注が来ている。
		金融業（役員）	取引先の様子	・取引先の業種間で好不調の格差が拡大している。具体的には東日本大震災後の落ち込みから回復をみていた自動車関連の製造業において、タイの洪水の影響から再度50%程度の減産になり、苦しい状況が続いている。一方、外食レストランを中心に、サービス業では着実な回復が続いている。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店の忘年会予約件数が前年同時期よりも増加傾向にある。販売促進のための広告出稿も増加したり、アルバイト求人も増えている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・景気そのものが良くなったわけではないが、今月は臨時的な仕事が入った関係でやや良い。
変わらない	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・ユーロ安の影響もあり、ポジョレーヌーヴォーに押され、国産品は大変苦戦を強いられている。	
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少しずつではあるが注文が入ってきている。冷え込んだ市場に購買意欲が芽吹いてきたのかと期待している。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末商材の受注対応で一時的に忙しくなったものの、店頭一般商材の受注は相変わらず低迷している。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上は多少増加しているが、厳しい状態が続いている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が思ったように増えていない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の車種にはタイの洪水の影響はなかったため、前年と同じか、それより少し良いくらいではある。全般的に9～11月と同じようなペースで、変わらない。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先関係では、仕事が多くある会社もあれば、少なくなっている会社もあり、どちらとも言えない。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・現在は特にネットショップやホームセンター向けの冬物対策商材、防寒商材等、特に石油ストーブ、湯たんぽ、室内インテリア商材等の動きが例年よりは多く、物量も確保している。しかし、昨年はエコポイント効果があったこともあり、今年は白物家電の動きが落ち込んでいるため、全体的には例年並みである。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光業についてはシーズンオフに入る。製造業は円高の影響で受注に懸念を感じている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	それ以外	・日刊紙の広告は県内出稿が回復してきているようである。しかし、約3万部発行のミニコミ紙では、レギュラーで出稿していた広告主の停止が目立ち、変わる広告主もままならない状況だと聞いている。当社のチラシ出稿量は105.1%で、2か月連続で前年を越えている。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・多くの所は売上が増えても減ってもおらず、忙しい事業所でも採算は大して良くはない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に特段の変化は見られない。競争の激化や価格の低下は否めないが、量的な変化はない。当面収益は厳しい状態が続く。	

やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・数パーセントではあるが、前年比では落ちてきており、やはり買い控えの傾向にある。	
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数が前年より10%くらい落ちている。特に年賀状の落ち込みがひどい。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・油圧建設機械分野の仕事で仕事量が落ちていると共に、タイの洪水の影響により、関連自動車部品の出荷ペースに調整が入っている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・タイの洪水の影響が出てきて部品が取り合いになり、調達できないなどで、生産が計画どおりに進まず、休業状態となっている。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・生産関連指標の伸びが鈍化しており、東日本大震災後、持ち直しの動きが緩やかになっている。内需も力強さに欠けている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・東日本大震災後の戻りが一服し、下請製造業、小売業、飲食業、観光関連業種など、幅広い業種で業績が下降気味である。資金繰りも厳しくなっている所が増えている。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災でのボタン電話システムの増産、特需が先月で終了し、受注が激減している。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月は消費者を対象とした展示会を2回行ったが、残念ながら10月の卸対象の展示会と同様、来客数、売上共に前年比2割減である。	
	建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っているが、9月決算で売上高が24%減っている。受注高は前年比7%増であったが、東日本大震災の影響で工期延長を強いられたため、決算も3期ぶりに赤字になっている。	
	通信業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・現在の得意先の中でも新規発注が無い。	
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・建物の大規模改修をしなくてはならないが、オーナー側はできる限りかかる費用を削減して欲しいとのことである。工期の短縮により人件費などを減らさなければならぬので、受注業者と金額面で折り合いを付けることに苦労している。	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・タイの洪水の影響で生産拠点を一時的に日本に移し、派遣中心で生産を実施している企業の求人が増加したため、良くなっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・月の前半は、電子、自動車関連の備品製造等が目立ち、中間から後半にかけては、どちらかと言うと製造業よりも衣料品関係の小売、家電、エコ商品の販売がかなり動きを見せている。求人数については若干増えているようである。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月あたりから以前と比べて仕事の量が増えている。製造業関係はタイの洪水により現地で仕事ができないので、忙しくなっているようである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月以降の求人数が増えており、11月の新規求職者の減少が見られるため、求人倍率等が現在はやや良くなっている。
変わらない	求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人募集企業は今年の前半に比べると9月くらいから増加傾向にあるが、介護、サービス業などで、全体の募集人数は少ない。中堅、大手企業の社員募集はほとんどない。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・印刷関連企業での人員整理に伴う求職申込が目立つ。離職後の窓口相談では、経験した仕事で特定の部類に偏っていることなどから、再就職がなかなか難しい状況にある。また、タイの洪水の被害の影響が一部の製造下請企業に出てきているとの情報もある。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比35%増となっているが、緊急雇用創出事業や期間雇用等の有期雇用求人の割合が多くなっており、正社員を希望する求職者とミスマッチがある。	
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人数を含め、この時期になっても一向に良くなる兆しが見えない。求人数に関しては例年より悪くなっているようである。	
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・県内から撤退する企業が増えているため、やや悪くなっている。	
悪くなっている				